

健康科学部 こども健康・教育学科

Course No.	講義科目 (テーマ)	講義内容	教員名
1	実生活に生かす運動の計画	体を動かす楽しさや心地よさを味わいながら、自己のねらいに応じて、卒業後も継続可能な運動の計画を立てて取り組む方法について学びます。	教授 加藤 雅之 (かとう まさゆき)
2	子どもと科学する おもちゃづくり	身近にある材料を使い、子どもと楽しめるおもちゃづくりを通して、科学の不思議さ・面白さを体験します。	教授 鈴木 達見 (すずき たつみ)
3	楽しみ Math	数学パズルなどを通して数学の面白さを味わったり、算数・数学が日常生活にどのように生かされているのかを学び、算数・数学との関わりを楽しみます。	教授 鈴木 正則 (すずき まさのり)
4	はじめてみよう！ 部落問題学習	小中学校の社会科教科書の記述をてがかりに、部落問題学習の現状と課題についてクイズやワークを取り入れながら学びます。	教授 出井 伸宏 (でいのぶひろ)
5	学級やチームスポーツの コミュニケーション向上を 図る自然体験活動	初めて出会ったメンバーの緊張をほぐし、打ち解けるために、自然体験活動ではグループで課題解決を図る活動を行います。学校におけるクラス内のコミュニケーション向上やスポーツにおけるチームビルディングのための事例からその効果を学びます。	教授 時安 和行 (ときやす かずゆき)
6	こどもにとって 「学校」とは何か	西欧及び我が国の歴史における子ども観や学校、教育に対する考え方の変遷等を交えて解説します。	教授 平田 幸男 (ひらた ゆきお)
7	楽しく音楽で人間関係づくり ～リズムで仲よし～	リズムゲームやアンサンブル、リズムづくりなどの音楽遊びを通して、子どもにコミュニケーション能力と音楽の基礎基本を身に付ける体験をします。	教授 村松 千里 (むらまつ ちさと)
8	心理学の知見に基づいた 勉強のやる気の出し方と 効果的な勉強法	心理学の知見に基づき、勉強への動機づけを高めるメカニズムと、学習メカニズムについて解説します。とくに、高校生が自分自身の体験に関連づけたり、応用できるように具体例を提示し、わかりやすく解説します。	教授 丸山 真名美 (まるやま まなみ)
9	即興で話すために 大切にしたいこと	英語を用いた言語活動（コミュニケーション活動）に取り組み、即興で話すために必要なことを学びましょう。	教授 山田 誠志 (やまだ さとし)
10	ジュニア期のスポーツ	幼児から中学生までの成長期に適したスポーツ活動のあり方について学びます。	准教授 内田 智子 (うちだ ともこ)
11	生まれて初めての「せんせい」	生まれて初めて「せんせい」と呼び掛けたのは、幼稚園や保育園の先生ではないでしょうか？子どもたちが大好きな「せんせい」のお仕事を、手遊びや紙芝居を使いながら紹介します。	准教授 金森 由華 (かなもり ゆか)
12	マンガを描いてストレス解消！	ストレスを感じたイベントの主人公を変え、自分から切り離して、4コマ漫画にしてみましょう。面白いオチを用意すれば、自分も他人も楽しませられる、立派な作品です。	准教授 谷岡 曜子 (たにおか ようこ)
13	こどもと楽しむものづくり	廃材や身近な素材を生かして、子どもと共に楽しめるものづくりについて学びます。	准教授 西村 志磨 (にしむら しま)
14	写真はことば	写真はことばの力の育みに有効なメディア教材です。どんな可能性があるのか、楽しく学びます。	准教授 松岡 礼子 (まつおか れいこ)
15	はじめての子ども家庭福祉	今、日本において、子ども虐待や子どもの貧困など、子どもの命や生活にかかわる問題があり、解決や改善が急がれています。子どもの命や生活を守るために必要な基本的な知識について学びます。	准教授 吉田 幸恵 (よしだ ゆきえ)
16	こどもの遊びを知ろう	「こどもは遊ぶのが仕事」という言葉があるように、遊びはこどもの成長に欠かせないものです。また皆さんにとっても、「遊び」は身近なものかもしれません。こどもの遊びが、成長とともにどのように発達していくのか、心理学の視点から一緒に考えてみましょう。	助教 川浦 千明 (かわうら ちあき)